



現在、宮城県石巻市(雄勝町 他)や福島県南相馬市を中心に、現地の保健師や医療スタッフと連携しながらのリハビリニーズ調査、マッサージ、体操指導などを行っています。

● face to face について

私たちface to face は、東日本大震災における被災地域を主にリハビリテーション分野で支援するための団体です。

同じ思いを持った有志のリハビリテーションスタッフ
(リハ医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 他) により立ち上げられました。

たとえば、お年寄りが弱って動けなくなることがないように。
たとえば、必要な「リハビリ」を受けられない人がいないように。
被災地で頑張る人たちが、よりよく動けるカラダでいられるように。

私たちはリハビリの知識・経験をいかした活動を行います。

● 活動方針

1. 支援対象

- ・被災による一時的なスタッフ不足、介護支援体制の喪失などにより「必要なリハビリテーション的アプローチ」が行き届いていないコミュニティ（避難所、仮設住宅、自宅、病院、老健）
- ・物資や復興作業、余暇活動など必要とするコミュニティ
- ・上記コミュニティに対して支援活動を行う団体（リハ関連10団体、各県士会、NPO等）

2. 活動内容

- 現地支援：リハビリテーション職のスキルを活かした直接的アプローチ
→現地におけるリハビリニーズ調査、廃用予防のための運動指導（モバイルデイケアとしての体操教室や個別指導）、疼痛緩和アプローチ、装具・補助具の相談・処方、住環境整備へのアプローチ 等
- 間接的支援：
→運動処方など対策についての情報提供・他団体への現地情報の提供、他の医療支援団体と協力しての現地調査
- 一般社会への情報発信：HP、twitter、facebook、Ustreamなどを利用したweb上での情報発信
- 啓蒙活動：
 - ・現地へ向けたリハビリテーションアプローチの必要性の伝達
 - ・運動指導ツールなどの提供
 - ・リハビリテーション医、理学療法士による講演活動

3. 活動期限

- ・現地スタッフによる医療、福祉、介護サービスが対応可能となるまで
- ・物資調達の必要性がなくなる／復興作業が進行し生活再編がはじまる／自主的な余暇活動が可能となるなど、対象コミュニティで生活者の「自立」がより進んだ状態になるまで。

● 各支援団体の皆さまへ

私たちは「支援団体を支援すること」によって、より支援の手を大きく広げられると信じています。よかったら、情報をください。そして皆さんの活動を手伝わせてください。

「現地にいる人を支えたい」という思いを共有し、共に行動しましょう！